

阿武隈川水系 蛭川 洪水浸水想定区域図（想定最大規模）

- 1 説明文
- (1) この図は、阿武隈川水系蛭川の県管理区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 - (2) この洪水浸水想定区域図は、指定時点の蛭川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により蛭川が氾濫した場合の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合は、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- 2 基本事項等
- (1) 作成主体 福島県
 - (2) 指定年月日 令和8年2月27日
 - (3) 公告番号 公告第45号
 - (4) 指定の根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項
 - (5) 対象となる河川 阿武隈川水系蛭川（実施区間）
- 左岸：福島市宮代字中台34番の1地先から阿武隈川への合流点まで
 右岸：福島市宮代字作田72番地先から阿武隈川への合流点まで
- (6) 指定の前提となる降雨 蛭川流域の24時間の総雨量74mm
 - (7) 関係市町村 福島市

- 凡例
- 浸水した場合に想定される水深（ランク別）
- 0.5m未満の区域
 - 0.5m～3.0m未満の区域
 - 3.0m～5.0m未満の区域
 - 5.0m～10.0m未満の区域
- 市町村境界
 --- 河川等範囲
 洪水浸水想定区域の指定の対象となる河川（区間）

A1印刷時の縮尺=1:6,000 A3印刷時の縮尺=1:12,000

0.0 0.25 0.5 1.0 km

測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JIS 480
 背景図は電子地形図25000を拡大して使用しているため、位置精度は基図に準じます。

